

「金沢大学弓道部日記」

金沢大学弓道部
コーチ 針田 朗

1、金沢大学弓道部本部・医学部合同稽古（6月）

従来より6月度には本部・医学部合同稽古を角間弓道場で行っていました。

しかし、コロナ渦による部活動制限の流れを受け、中断という状況でした。

元々、県内大学定期対抗戦や本部道場での医学部の試合前強化練習実施など交流はありました。コロナ渦の時期、本部道場で定期審査会稽古を行い、体配確認を行ったこともあります。

その流れで本年度より執行部同士の話し合いで合同稽古が復活し、医学部2年生6名が参加し、交互指導や競射などの交流がなされました。

この間に行われる北陸地区国立大学体育大会弓道競技の選手選考にもエントリー可能であり（金沢大学生であれば出場可能な大会のため）、過去、本部・医学部の学生がチームメイトとして団体戦を戦ったこともあります。今年は試合日程が重なり実現しませんでした。来年度以降、交流、レベルアップも期待され、医学部学生の試合出場が実現出来ればと考えています。

2、1年生強化練習（7月7日～12日）

1年生強化練習は、1週間、上級生は一切弓を引かず、2年生が中心になっての上級生による1年生指導に特化した練習です。その内容は、射技指導、体配指導でほぼマンツーマンによる付きっきりの指導となります。指導のためには2年生も勉強、工夫が必要となり、1年生強化練習といいながらも2年生のレベルアップも目指しています。目的は全員が競射参加出来るようになるため、これにより16時30分からの1年生指導がなくなり、19時からの競射に一本化されます。

最終日は経験者による審査間合いによる射礼披露、そして上級生作成の絵的使用した余興を行い、新入生全員が絵的中するまで続けました。

強化練習後は、的前の自主稽古が可能になります。弓道は基本の反復練習が大事です。授業の合間や夏期休暇の8月中に各自矢数をかけてレベルアップして欲しいと思います。その気になればどれだけでも練習できます。

3、七夕射会（7月19日）

主務企画による七夕射会が開催され、1年生も初めての射会に参加しました。
4人1チームによる団体戦が行われ、1人12射により順位を決定、入賞チームには景品が授与されました。

初心者の1年生も初めて試合の雰囲気を感じつつ、無礼講の矢声に驚きながらも楽しい時間を過ごしました。

団体戦の後には、ビンゴ的による余興も行われ、弓の楽しさ、奥深さもちょっとだけ経験し、大学部活動の自由さも感じてもらえたのではないのでしょうか。

